

拉致問題ニュース

特定失踪者とは？

何故 **拉致被害者** として認定されないのか？



特定失踪者 藤田 進さんの場合 3

S 31 (1956). 6. 16 生 (当時 19 歳) S 51 (1976). 2. 7 失踪

県立浦和高校卒 東京学芸大 1 年 (19 歳) のときアルバイトに行く為、
川口市内の自宅を普段と変わりなく出かけたまま行方不明になる

脱北者が持ち出した 1 枚の写真、「法人類学的に見て同一人の可能性が極めて高い」との鑑定結果に加え、北朝鮮国内で「藤田進さんを見た。工作員養成機関で日本人教官だった」との証言も得られた。更に、藤田進さん拉致事件には、実行犯の証言も存在するのである。

拉致の多くは日本海側沿岸で起きている。内陸の埼玉県川口市と拉致はどのように結び付くのだろう。藤田進さん拉致実行犯 (A 氏) によれば以下ようになる。

A 氏は都内足立区にある N 病院の幹部で、理事長の運転手や病院経営の手伝いをしていた人物である。N 病院は、北朝鮮系の総合病院で北朝鮮工作活動の拠点であると言われている。

1976 年 2 月、A 氏は別の病院幹部 B 氏から“任務”を依頼される。「埼玉に“患者”を連れに行くから運転手をやってくれ」 当時 A 氏は拉致については知らされず、埼玉県内にも数多くある、総連系の病院から患者を引き取ってくるのだろうと思ったという。

冬にしては暖かい 2 月 7 日昼過ぎ、N 病院から 2 台の車で出かけた。環状 7 号を西進し、都道 107 号、川口本町大通りから産業道路へ入り、川口駅前を通り越した産業道路沿いにある公園で停車。公園の反対側に 3 台目の車が停まっていた。総連関係者 4 人が乗っており、B 氏に大宮氷川神社へ行くように指示した。

次回へ つづく

拉致問題と普通の誘拐事件や災害と何が違うの？
家族の気持ちはわかるけど
人生にはどうしようもないことだってあるのに・・・
どうして拉致問題は税金を投入して
政府が解決しなければならないの？
北朝鮮崩壊を待つしかないのでは？

拉致問題について、このように考えたことはありませんか？

この考え方は、大きく間違っています。拉致問題は単なる誘拐事件ではありません。
気の毒な拉致被害者とその家族という小さな問題でもないので。

国家とは、何でしょう？ 領土・国民・主権の3つの要素が揃うことが国家の条件です。国家は国民の生命・財産・安全を守る責務があります。尖閣諸島は日本の領土ですが、そこを侵害した中国漁船の問題を思い出してください。あの事件では、日本の領土と主権が侵害されました。拉致問題と全く同じなのです。

安全なはずの日本国内に外国の工作員(スパイ)がうろろうすること自体、異常なことですが、その工作員が日本国内という日本国の主権の及ぶ範囲内で、日本国民を拉致し、国外へ連れ出すことは9.11のテロ行為にも等しいことなのです。

国家は全力を挙げて、外国の工作活動から国民の生命・安全と国家の主権を守らなければなりません。しかし、政府の対応が遅れ長期にわたり国民と主権が侵害され続け、白昼堂々と工作活動が進められた結果、多くの国民が拉致をされてしまいました。拉致被害者は17名だけではありません。500名近い特定失踪者がいます。

**国家が犯したテロ行為に対し、個人が対応をすることはできません
国家間の問題だからです**

**日本国政府が自国の主権と国民を守るという責任を果たす為には、
政府自らが最重要課題として取り組まなければならないのです
北朝鮮の崩壊をアテにするのではなく、主体的な外交といった
主権国家としての毅然とした対応が望まれるのです ⇒ 対話 と 圧力**

拉致問題解決の為に、あなたにもできることがあります

拉致問題を知ってください 知ったことを知らないでいる人に伝えてください

ブルーリボンをバッグ・帽子・洋服などにつけてください 拉致問題のアピールになります

ブルーリボンの青は、被害者と家族を隔てる日本海の青、被害者と家族を結ぶ空の青 です